

## 横浜市泉公会堂 令和3年度事業計画および収支予算

### 1 施設の概要

施設名	横浜市泉公会堂
所在地	横浜市泉区和泉中央北五丁目1番1号
構造・規模	RC造 地上2階地下1階建
敷地・延床面積	延床面積 5,076㎡
開館日	平成3年5月11日

### 2 指定管理者

法人名	相鉄企業株式会社
所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表者	代表取締役 佐武 宏
設立年月日	昭和36年11月1日
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで

### 3 指定管理に係る考え方

#### (1) 令和3年度の基本方針および実施方針について

私たちは、平成30年度から指定管理者として泉公会堂を運営するにあたり、泉区運営方針である「区民と歩む泉区政 元気の出る泉づくり」の下、「泉区民の絆が深まる場所～生まれ変わる泉公会堂～」を泉公会堂の基本方針として、区民のみなさまにご満足いただける施設として運営して参りました。平成30年度には、施設のにぎわい創出として「1階ホワイエおよび2階ホールの椅子・机リニューアル」「1階ホワイエのギャラリー化」「入口前看板のリニューアル」、いこいの場の提供として「利用者会議の開催」「囲碁・将棋の設置」「お茶セミナーの開催」、やさしい施設を実現として「2階ホールへのおむつ交換台の新設」「1階おむつ交換台にカーテン新設」「入口前広場に休憩ベンチの設置」「喫煙スペースの目隠し」を実施いたしました。平成31年度は講堂天井耐震工事に伴い1年間休館いたしました。令和2年度より再開館し、引き続き、実施方針に「いこい」「にぎわい」「やさしい」を掲げ運営して参りました。令和3年度につきましても、特定天井の工事に伴い座席と床面が新しくなった講堂をひとりでも多くの方に見ていただき体感していただく施策を実施して参ります。

自主事業につきましては、開催にあたっては区民の利用を妨げないよう、場所や時間等に配慮し、また、より多くの方に参加していただけるよう、SNSや紙媒体、ポスターなどの広報で事前周知をします。今年度は初年度の事業を踏襲した上で、以下の自主事業を実施いたします。

- ・「開館30周年記念イベント」(年1回)

- ・「舞台講座」(年1回)
- ・「第5回泉公会堂音楽交流会」(年1回)
- ・「避難訓練コンサート」(年1回)
- ・「ピアノを弾こう」(年12回)

維持管理業務の実施方針として、以下の事項を実施いたします。

- ・ Supervisor によるチェック体制の構築
  - 定期的に施設を巡回し、維持管理状況を確認
  - 作業手順書の確認
  - 問題点の抽出、改善
  - 館長や作業員に対し、必要な指導改善
- ・ いずみ事業所による応援体制の構築
  - 設備スタッフによる技術的支援
  - 警備スタッフによる防災訓練指導・危険個所の指摘
- ・ 横浜市重要施策にも挙げられている環境にやさしい施設の実現
  - 環境負荷低減を考慮した物品調達
  - ハマロード・サポーターへの参加、協力

## (2) 管理運営について

業務評価の体制として、運営業務におけるセルフモニタリングを行い、事業報告や業務内での気付いた点、改善策等を話し合います。気軽に意見交換できる環境を整え、コミュニケーションの充実や、さらなるサービス向上につなげます。

- ・ 日常モニタリング (毎日)
  - 日常の建物・設備状況について、日報やチェックリストを用いた館長・副館長によるモニタリング
- ・ エリア長モニタリング (月1回)
  - 業務内容、管理内容、品質状況について、エリア長によるモニタリング
- ・ Supervisor モニタリング (定期)
  - 維持管理業務について、施設管理のスペシャリスト Supervisor によるモニタリング

利用者サービス水準の維持・向上、利用促進計画として、ホームページ機能の充実、SNSによる情報提供、相鉄グループ力を活かした広報を展開し、情報発信力の強化を図ってまいります。また、利用者のご意見、要望、苦情等は管理運営において、より良い施設作りにつながる大切な情報であるため、幅広い方法でニーズを抽出し、各種会議等における実現方策の協議と実施、スタッフに対する研修等により継続的な利用者サービス向上を図ってまいります。

- ・ ご意見箱の設置 (随時)
- ・ 利用者アンケートの実施 (年1回)

- ・ホームページ問合せフォーム（随時）
- ・利用者会議（年1回）
- ・施設内会議（月1回）

#### 4 施設の運営に関する業務計画

##### (1) 開館日数

346日（休館日：月1回の設備点検日、年末年始休館6日、臨時休館日1日）

##### (2) 目標稼働率

施設名	稼働率	備考
講堂	56.5%	
リハーサル室	74.4%	
会議室	65.9%	第1会議室第2会議室合計
和室	57.6%	

##### (3) 人員配置

項目	人数	備考
館長	1	
副館長	2	
受付スタッフ	6	

##### (4) 勤務体制

館長、副館長は3名でのローテーション制

種類	時間	人数	備考
早番	8:30~17:00	1	
遅番	14:00~22:30	1	

受付スタッフは6名でのローテーション制

種類	時間	人数	備考
早番	8:30~13:30	1	
昼番	13:15~17:15	1	
遅番	17:00~22:00	1	

#### 5 施設の管理に関する業務計画

##### (1) 実施業務

業務内容	委託先	実施頻度
清掃業務（日常）	テルウェル東日本(株)	毎日
清掃業務（床面定期）	テルウェル東日本(株)	6回/年

清掃業務（カーペット）	テルウェル東日本(株)	2回/年
清掃業務（ガラス）	テルウェル東日本(株)	1回/年
清掃業務（照明器具）	テルウェル東日本(株)	1回/年
植栽・外構・花壇点検保守	ニホンターフメンテナンス(株)	1回/年
音響設備保守点検	ヒビノアークス(株)	1回/年
舞台照明設備保守点検	(株)松村電機製作所	1回/年
舞台吊物設備保守点検	森平舞台機構(株)	1回/年
グランドピアノ保守	(株)青葉ピアノ	1回/年
グランドピアノ調律	(株)青葉ピアノ	3回/年
アップライトピアノ保守	(株)青葉ピアノ	2回/年
エレベーター保守点検	中央エレベーター工業(株)	12回/年
冷温水発生機保守	テクノ矢崎(株)	4回/年
冷却水冷温水処理系等保守	市田化学(株)	4回/年
レジオネラ属菌検査	(株)酒井化学研究所	2回/年
飲料水水質検査	(株)酒井化学研究所	2回/年
機械警備業務	セコム(株)	毎日
非常用発電機点検保守	(株)神奈川発電機サービス	2回/年
排煙装置点検	(株)ハツタテクノ	2回/年
消防設備点検	(株)ハツタテクノ	2回/年
防火対象物保守	(株)ハツタテクノ	2回/年
非常通報装置点検	(株)ハツタテクノ	2回/年
トイレ保守業務	日本カルミック(株)	6回/年
防火扉等点検	(有)共栄シャッター	1回/年
害虫駆除清掃保守	(株)シー・アイ・シー	2回/年

## (2) 緊急対策

緊急連絡網に基づき、即時に関係各所（泉区地域振興課、警察署、消防署、医療機関等）および弊社（本社、いずみ事業所、オペレーションセンター）に連絡の上、正確な情報の共有と迅速なバックアップを行い、早期解決に向け対応いたします。緊急対策としては以下の事項を実施いたします。

- ・ 既存緊急連絡網の維持管理
- ・ 既存緊急時対策マニュアルの維持管理

## (3) 防犯・防災に関する事項

防犯に関する取り組みとしては以下の事項を実施いたします。

- ・ いずみ事業所からの応援体制

泉公会堂から徒歩4分の場所に位置しているいずみ事業所では警備スタッフが

24 時間体制で常駐し業務に当たっております。警備スタッフは警察OBによる実践的な研修を受けた施設警備のプロです。この警備スタッフが災害発生時対応マニュアル作成に対してのアドバイスや繁忙期の警備応援に当たり、緊急時にも連携をとり対応します。

- ・防犯・防災マニュアルの維持管理

本施設は、不特定多数の方が自由に入出入り可能な施設であり、酔客など危害や損害を与えるものが侵入する可能性もあります。スタッフによる巡回点検や積極的な声掛け（挨拶）、引継簿や日誌による申し送りなど、事件・事故を未然に防止することに重点を置き「泉公会堂防犯・防災マニュアル」を引き続き維持管理します。防災に関する取り組みとしては以下の事項を実施いたします。

- ・防災計画

横浜市防災計画および泉区防災計画に則り、弊社防災担当講師（消防署長経験者）アドバイスのもと、防災計画を策定します。本施設は泉区庁舎と隣接しており、泉区防災計画上、災害発生時に区庁舎の被害が大きく、災害対策本部設置不可能となった場合の「代替施設」として位置づけられております。また、「帰宅困難者一時滞在施設」としての役割も担っており、大規模災害発生時の重要施設であると認識しております。そのため、災害発生時には泉区庁舎との情報共有、帰宅困難者受け入れや速やかな備蓄品の配布、公共交通機関の情報提供等を迅速に行い、災害対策本部が設置される場合は積極的に協力いたします。

- ・避難訓練

施設スタッフを対象とした通常の避難訓練を実施する他、自主事業の一環として、利用者にも参加していただく「避難訓練コンサート」を実施します。

- ・備蓄

公の施設として、緊急事態を想定した準備は欠かせません。緊急時を想定し、水、保存ビスケット、アルミブランケット、トイレバック等防災備蓄品をホール収容人数である 600 名分用意し、引き続き緊急時に備えます。

- ・消防計画の作成

施設に消防上の変更があった場合、横浜市泉消防署に消防計画の作成・提出を行います。

公会堂利用者に影響をおよぼす恐れのある台風や降雪など気象状況を事前に把握し、状況により泉区地域振興課と協議の上、閉館時刻の繰り上げを行うなど、利用者を早めに帰宅させる措置をとり、利用者に被害が生じないよう安全の確保を図ります。また、東日本大震災の教訓を活かし、緊急連絡訓練、災害用ペンダー（自販機）の利用方法、帰宅困難者の受け入れに関する情報共有など、迅速な対応が行えるよう全職員の訓練を強化してまいります。

## 6 従業員教育

本施設は子どもから高齢者、障がい者や外国の方など、様々な方が訪れる公の施設です。その利用者に快適で心地よい環境を提供するためには、スタッフの接遇を向上させ、きめ細かい対応を実現するのはもちろんのこと、専門性や緊急時の対応能力を向上させる教育が必要です。今年度も以下の研修を定期的実施し、スタッフの継続的な育成に努めてまいります。

- ・コンプライアンス研修
- ・接遇マナー研修
- ・人権研修
- ・普通救命/A E D講習
- ・ノーマライゼーション研修
- ・基本業務研修（受付や付帯設備の操作方法等/着任時）
- ・情報公開/個人情報保護研修  
（横浜市個人情報保護取扱特記事項の取組み・Pマーク社内研修）

## 7 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る具体的な感染防止対策及び各経費の節減・利用料金収入の増に向けた取組等

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る行政のガイドライン等を遵守し、以下の取組を実施いたします。

- ・スタッフによる1日3回の館内アルコール消毒。
- ・出入口にアルコール消毒剤の設置。
- ・小まめな換気。
- ・ご利用者に「利用者健康状態等確認票」をお渡しし、健康状態、名簿作成等を確認（非接触式温度計の貸与）。
- ・ご利用者に消毒セットをお渡しし、利用した諸室の備品等の消毒の協力を要請。
- ・手続きに伴う来館機会を削減するため、抽選申込の直接来館申込み要件の廃止（電話・FAXによる申込を可とした）、スタッフによる代理抽選の実施（従来は利用者が抽選に来館していたが、スタッフが代理抽選を行い、結果を利用者へ連絡することとした）。
- ・各諸室のドアの開放および非施錠化の実施（従来は非利用時には施錠および閉扉していたが、開錠時のドアノブ等の接触機会を削減するため非施錠とした）。
- ・ご利用のない時間帯の空調機の停止および照明消灯による経費節減。
- ・三密を避けた事業として、定員10名以下でご利用いただく講堂の時間貸し事業「ピアノを弾こう」を開催し、稼働率の下がった講堂の有効活用を行う（令和2年度より継続事業）。

## 8 収支について

＜収支予算書＞

(税込、単位：円)

収 入		
項 目	予算額	備 考
指定管理料収入	32,669,000	協議の結果に基づく
利用料収入	11,863,000	4項(2)に基づき算出
その他収入	873,000	自主事業収入・自動販売機手数料・コピー手数料等
合 計	45,405,000	
支 出		
人 件 費	20,215,800	4項(3)に基づく配置
事 務 費	1,818,084	消耗品・通信費・備品購入費等
事 業 費	291,500	イベントの実施
管 理 費	18,348,721	光熱水費・修繕費・設備保全費
公 租 公 課	1,979,999	消費税・事業所税・印紙税
事 務 経 費	2,750,896	本社経費
合 計	45,405,000	
収 支 計	0	

※ 収支予算の内訳は別紙参照

## 令和3年度 「横浜市泉公会堂」 収支予算書兼決算書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	32,669,000		32,669,000		32,669,000	横浜市より
利用料金収入	11,863,000		11,863,000		11,863,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	0		0		0	
自主事業収入	396,000		396,000		396,000	
雑入	477,000	0	477,000	0	477,000	
印刷代	29,000		29,000		29,000	
自動販売機手数料	447,000		447,000		447,000	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他( )	1,000		1,000		1,000	
<b>収入合計</b>	<b>45,405,000</b>	<b>0</b>	<b>45,405,000</b>	<b>0</b>	<b>45,405,000</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>20,215,800</b>	<b>0</b>	<b>20,215,800</b>	<b>0</b>	<b>20,215,800</b>	
給与・賃金	16,698,000		16,698,000		16,698,000	
社会保険料	2,158,200		2,158,200		2,158,200	
通勤手当	976,800		976,800		976,800	
退職給付引当金繰入額	382,800		382,800		382,800	
<b>事務費</b>	<b>1,818,084</b>	<b>0</b>	<b>1,818,084</b>	<b>0</b>	<b>1,818,084</b>	
旅費	39,600		39,600		39,600	
消耗品費	523,710		523,710		523,710	
会議用費	0		0		0	
印刷製本費	153,780		153,780		153,780	
通信費	221,760		221,760		221,760	
使用料及び賃借料	94,600	0	94,600	0	94,600	
横浜市への支払分	94,600		94,600		94,600	
その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	193,990		193,990		193,990	
職員等研修費	22,000		22,000		22,000	
振込手数料	2,200		2,200		2,200	
減価償却費	48,000		48,000		48,000	
手数料	405,034		405,034		405,034	
地域協力費	10,450		10,450		10,450	
広告宣伝費	102,960		102,960		102,960	
<b>事業費</b>	<b>291,500</b>	<b>0</b>	<b>291,500</b>	<b>0</b>	<b>291,500</b>	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	0		0		0	
自主事業費	291,500		291,500		291,500	
<b>管理費</b>	<b>18,348,721</b>	<b>0</b>	<b>18,348,721</b>	<b>0</b>	<b>18,348,721</b>	
光熱水費	7,903,781	0	7,903,781	0	7,903,781	
電気料金	5,144,855		5,144,855		5,144,855	
ガス料金	1,971,785		1,971,785		1,971,785	
水道料金	787,141		787,141		787,141	
清掃費	4,175,600		4,175,600		4,175,600	
修繕費	1,100,000		1,100,000		1,100,000	
機械警備費	237,600		237,600		237,600	
設備保全費	4,931,740	0	4,931,740	0	4,931,740	
消防設備保守	901,340		901,340		901,340	
空調衛生設備保守	1,243,880		1,243,880		1,243,880	
エレベーター保守点検費	792,000		792,000		792,000	
自動ドア保守点検費	231,000		231,000		231,000	
電気設備保守	462,000		462,000		462,000	
非常用放送設備	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	52,800		52,800		52,800	
植栽管理	220,000		220,000		220,000	
その他保全費	1,028,720		1,028,720		1,028,720	
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>1,979,999</b>	<b>0</b>	<b>1,979,999</b>	<b>0</b>	<b>1,979,999</b>	
事業所税	27,000		27,000		27,000	
消費税	1,950,999		1,950,999		1,950,999	
印紙税	2,000		2,000		2,000	
その他( )	0		0		0	
<b>事務経費(計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>2,750,896</b>	<b>0</b>	<b>2,750,896</b>	<b>0</b>	<b>2,750,896</b>	
本部分	2,750,896		2,750,896		2,750,896	
当該施設分	0		0		0	
<b>二一ズ対応費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>45,405,000</b>	<b>0</b>	<b>45,405,000</b>	<b>0</b>	<b>45,405,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	
管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	



令和3年度 自主事業事業計画書

(様式3)  
施設名：横浜市泉公会堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入	支出		
	③一人当たり参加費		参加費	講師謝金	材料費	その他
泉公会堂開館30周年イベント	全て					
	600					
	0	110,000	0	0	0	110,000
舞台講座	全て					
	30					
	0	55,000	0	0	0	55,000
第5回泉公会堂音楽交流会	全て					
	600					
	0	110,000	0	0	0	110,000
避難訓練コンサート	全て					
	300					
	0	16,500	0	0	0	16,500
ピアノを弾こう	全て					
	264					
	1,800	0	396,000	0	0	0
		0				
		0				
		0				
		0				
		0				
		0				
		0				
		0				
合計		291,500	396,000	0	0	291,500

事業ごとの事業内容等を「05自主事業別計画書（単表）」に記載してください。

## 令和3年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 横浜市泉公会堂

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
泉公会堂 開館30周年 イベント	泉公会堂開館30周年をみんなで祝うイベント。	実施時期 5月 回数 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
舞台講座	泉公会堂で吹奏楽等舞台を利用する団体に向けた、舞台、照明、音響の取扱い講座。	実施時期 8月 回数 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
第5回泉公会堂 音楽交流会	地域の方々に文化芸術に接する場の提供および地域での活動団体への発表の場を提供するために開催。地元の吹奏楽サークルであるいずみ吹奏楽団さんと区内中学校吹奏楽部のコラボレーションによるWinter Concert。	実施時期 12月 回数 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
避難訓練 コンサート	ホール災害の意識高揚を目的として開催。横浜市消防音楽隊による無料のコンサートの途中で地震および火災が発生した想定で避難訓練を行う。	実施時期 2月 回数 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピアノを弾こう	特定天井工事に伴い座席および床面が新しくなり、反響板や壁面が綺麗になった泉公会堂の講堂をひとりでも多くの方に知っていただき、体感していただくための事業。舞台にピアノを配置し、施設利用料およびピアノ利用料をセット料金にて時間単位で利用していただく。通常講堂を利用するには「昼間」「夜間」の2区分で利用者にとって負担が大きいが、時間単位となり安価で気軽にご利用いただけることとなる。	実施時期 毎月 回数 12回

令和3年度泉公会堂自己評価表

目標設定 の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利用者 サービス	SNSによる情報提供			
	相鉄グループ力を活かした広報活動の展開			
	舞台講座の実施（年1回）			
	泉公会堂開館30周年イベントの実施（年1回）			
	第5回泉公会堂音楽交流会の実施（年1回）			
	避難訓練コンサートの実施（年1回）			
	ピアノを弾こう（年12回） 施設内会議の実施（月1回）			
業務運営	いずみ事業所による応援体制の維持			
	日常モニタリングの実施（毎日）			
	エリア長モニタリングの実施（月1回）			
	Supervisor モニタリング（定期）			
	講堂の稼働率向上（56.5%）			
	リハーサル室の稼働率向上（74.4%）			
	会議室の稼働率向上（65.9%）			
	和室の稼働率向上（57.6%）			
	人員配置（館長1名、副館長2名、受付スタッフ6名）			
	施設管理維持業務の年間計画表に基づいた実施			
	緊急連絡網の維持管理			
	緊急時対策マニュアルの維持管理			
	防犯カメラの設置			
	防犯・防災マニュアルの維持管理			
	防災計画の維持管理			
避難訓練コンサートの実施				
防災備蓄品の維持管理				

様式 13

	消防計画の維持管理			
職員育成	コンプライアンス研修の実施（年1回）			
	接遇マナー研修の実施（年1回）			
	人権研修の実施（年1回）			
	普通救命/AED講習の実施（年1回）			
	ノーマライゼーション研修の実施（年1回）			
	基本業務研修の実施（着任時）			
	情報公開/個人情報保護研修（年1回）			
	外国語研修（ボイストラ研修）（年1回）			
財 務	平成 28 年度実績に対する稼働率 3%向上による利用料金収入増 10,966,934 円			
	備品消耗品購入に係る相鉄グループの包括的割引契約の締結			
その他 （上記4 つの視点 以外の項 目があれば追記）	環境負荷低減を配慮した物品調達 ハマロードサポーターへの参加			
利用者等 の 意 見	ご意見箱の設置（随時） 利用者アンケートの実施（年1回） ホームページ問合せフォーム（随時） 利用者会議の実施（年1回）			

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載